さいたま市長メッセージ

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

本市では、12月6日までの1週間に、1,777件の検査を実施し、これまでで最も多い、122名の新規陽性者が判明しました。年代別では、20歳代が35名で最も多く、30歳代の21名と併せて半数近くとなっております。60歳代以上では17名の方の陽性が確認されています。

12月7日時点で、県内の新型コロナウイルス感染症の一般病床使用率は、54％を超えています。重症患者用の病床使用率も、約26％となり、今後の増加が懸念されています。

本市では、12月1日から、重症化リスクが高い高齢者に対する感染拡大防止策として、高齢者施設の新規入所者に対するPCR検査の費用の助成をしています。

また、12月7日から、市内の高齢者入所施設を市職員が巡回し、感染防止対策の徹底をお願いしています。

感染者やその御家族、医療・介護従事者等のエッセンシャルワーカーに対して、誤解や偏見による誹謗中傷、差別的な言動が見受けられます。このような行為は決して許されることではありません。インターネットやSNSで感染者を特定することや、非難するような書き込みを行うことはやめましょう。

本市は、12月10日から、新型コロナウイルス感染症に関連する誤解や偏見に基づく差別に関して、電話による相談窓口を開設します。ご心配なことがある方は、ぜひご相談ください。

新型コロナウイルスには、いつ、どこで、誰が感染するか分かりません。また、医療や介護等に従事する方々が、今、まさに現場を支えています。

差別をするのではなく、お互いに助け合いながら、共にこの難局を乗り越えていきましょう。